みやぎ県議会だより

平成28年
11月定例会特集
第120号

編集・発行　宮城県議会広報委員会
TEL 022(211)3592
〒980-8570　仙台市青葉区本町３丁目８番１号

大川小津波訴訟

遺族との早期和解求める

知事「石巻市の判断尊重し対応」

第358回宮城県議会（11月定例会）は、平成28年11月25日から12月15日まで21日間の会期で開かれた。仙台空港の運用時間延長に向けた調査費など総額676億9000万円を追加する一般会計補正予算など計78議案を原案通り可決した。初日の本会議で、中山耕一議員の議長辞任に伴う議長選を行い、後任に中島源陽議員を選出した。石巻市大川小学校津波訴訟で、県が仙台地裁判決を不服とし、控訴を専決処分した議案は、賛成多数で承認した。一般質問では、大川小訴訟に対する県の控訴理由や学校の安全対策、東京電力福島第一原発事故に伴う放射性物質で汚染された廃棄物の処理対応などが取り上げられ、活発な質疑応答が交わされた。

東日本大震災の津波で死亡・行方不明になった石巻市大川小の児童の遺族が市と県に損害賠償を求めた訴訟の仙台地裁判決を不服とし、県が控訴したことに対し、議員からは「遺族の思いに寄り添い、早期に和解するべきだ」との質問があった。

知事は「県としては、学校設置者として第一義的に責任を有する石巻市の判断を尊重しながら、今後の対応を判断するべき立場にある。石巻市の控訴という判断を尊重し、県も判決内容に承服しかねる部分があったので、控訴の判断をした」とし、控訴後の対応についても、石巻市の意向を尊重する考えを強調した。

また、議員からは県が専決処分により控訴手続きを行った理由の説明を求める質問もあった。

知事は「石巻市の対応が確定した後に、県の対応を判断する必要があったと考えている。市議会で控訴に関する議案が可決され、市長からも『速やかに控訴手続きに入りたい』との連絡があった。県も急いで判断する必要があると考えたが、県議会で審議する時間的な余裕がないため、地方自治法の規定に基づく専決処分を行った。社会的な影響の大きさに鑑み、県議会に説明する必要があるとも考え、議員全員協議会で、経緯や県の考え方などを説明した」と語り、理解を求めた。

事故の教訓を踏まえ、今後の学校防災の在り方を厳しく問う質問もあった。

教育長は「県教委では、『みやぎ学校安全基本指針』を全面改定し、『学校防災マニュアル作成ガイド』も作成した。各市町村教育委員会も学校のマニュアルの点検および防災体制に対しての指導助言を行い、これまでに全ての学校で『避難場所の複数設定』『引き渡しルールの規定』等が整備された。今後は地域と連携した学校防災の取り組みが必要であると考え、各学校が校長のリーダーシップのもと、防災担当教員が中心となり、地域との連携体制の構築を図り、防災教育がさらに充実するように支援していく」と述べた。

11月定例会の本会議

観光財源確保へ宿泊税の導入を

知事「必要性を研究」

観光振興については、議員から「観光戦略はインバウンドだけでなくアウトバウンドも重要」と、仙台空港から海外に向かう東北からの旅行者増加対策の必要性を訴える声があった。

土木部長は「県では、県内企業や関係団体への国際線の利用要請や各種広報媒体を活用した情報発信も行い、仙台空港のアウトバウンド強化を図ってきた。岩手、山形、福島の3県を重点地域に、仙台空港からの海外旅行情報の発信や旅行会社を対象としたセミナーも実施しており、今後も東北各地からのアウトバウンド促進に鋭意取り組む」と答えた。

観光インフラ整備の財源確保に向け、宿泊税の導入を提言する質問もあった。

知事は「宿泊税は東京都、大阪府で導入されているが、国は観光先進国を参考に受益者負担による財源を検討している。全国知事会も、観光施策を実現する上で必要かつ十分な新税財源の確保を関係省庁に要請している。県としては、国の財源確保の検討状況や全国知事会の動向を注視しながら、宿泊税導入の必要性を研究してみたいと考えている」と述べた。

国基準以下の放射性廃棄物

混焼の風評被害 懸念

県 安全性確認し処理進める

放射性廃棄物の処理に関連し、議員からは「国の基準（1㌔当たり8000�Bq）以下の一般廃棄物に分類されるものは、国から通常の処分方法が可能と通知され、県も一般ごみとの混燃の方針を示しているが、県内ではごく一部の自治体が実施したのみだ。県はどのような指導を行ったのか」とただす質問があった。

環境生活部長は「県では、通常の一般廃棄物との混焼を推奨し、各自治体で積極的に処理を進めるよう、担当者会議の開催や自治体への個別訪問、処理計画の検討支援などを行ってきた。しかし、汚染廃棄物の保管量に比べ、焼却施設の処理能力に余裕がない自治体が多く、汚染廃棄物に対する住民不安が拭いきれないことや指定廃棄物の問題もあり、処理が進まない状況が続いてきた」と答えた。

議員からは「広域での一斉焼却で、県内全域が風評被害を受ける可能性がある」と懸念する声もあった。

知事は「8000㍍以下の廃棄物の焼却処理は、岩手県など複数の県で既に行われており、特別なことではない。本来、速やかに処理されるべき廃棄物が5年半以上も一時保管されたままの問題を解決しなければ、我が県の復興が終わったことにはならないと、広域処理を提案した。しっかりと安全性を確認しながら処理を進めることで、風評被害を招く可能性を少なくすることが重要と考えている」と答弁した。

「汚染廃棄物処理は安全に実施することが重要で、10年の復興期間に含めるべきではないと思う」と指摘する議員もいた。

知事は「これまで負担を強いられてきた保管者の意見や、放射能濃度の状況を踏まえれば、少なくとも、通常の処理方法で安全に処理することが可能な8000㍍以下のものは、今こそ処理に向けて一歩を踏み出すべきだ」と語り、できる限り早く処理を終わらせるように取り組んでいく考えを示した。

宮城米販売戦略 おいしさ前面に

他県産との違いをＰＲ

農業振興の面からは、議員から「県産米のおいしさをもっとＰＲするべきだ」との意見があった。

知事は「全国の米の主産地で新品種が次々に発表され、産地間競争が激化する中、宮城米の販売戦略では、おいしさに加え、消費者に安全・安心などを訴えるプロモーションも不可欠だ。昨年7月には『みやぎ米ブランド化戦略会議』を設置し、新品種『東北210号』の展開を契機とするブランド化戦略を策定中である。今後は関係団体と一体となり宮城米のおいしさや他県産米との違いなどを積極的に伝え、消費者に選ばれ、売れる米づくりに取り組む」と決意を述べた。

今年9月の第11回全国和牛能力共進会（全共）宮城大会に向けた県の意気込みを尋ねる質問もあった。

知事は「全共宮城大会は、仙台牛のブランドを確立する絶好の機会。プレ全共や各種研修会の開催などによる出品技術向上対策にも取り組んだ結果、悲願の日本一獲得の手応えを感じている。今後とも関係者一丸となり、『獲るぞ、全共日本一』を合い言葉に、最大限の努力をしていく」と力を込めた。

議決した議案等

発　議＜1件＞

○県議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例

意見書＜7件＞

○真に地域農業及び地域経済に資する農協改革を求める意見書
○軽油引取税の課税免除措置の堅持を求める意見書
○ゴルフ場利用税の堅持を求める意見書
○教育環境の充実を求める意見書
○受動喫煙防止対策について配慮を求める意見書
○ホームドアの設置及び内方線付き点状ブロックの整備促進を求める意見書
○「ライドシェア」と称する「白タク」行為の容認に反対する意見書

可決・承認・同意した知事提出議案＜70件＞

○平成28年度宮城県一般会計補正予算
○職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
○工事請負契約の締結について（一般国道398号内海橋（仮称）災害復旧工事（その３））
○専決処分の承認を求めることについて（控訴の提起）
○土地利用審査会委員の任命につき同意を求めることについて　ほか

採択した請願＜2件＞

○私学助成増額について
○私立高等学校等への助成強化に関することについて

※議案等に対する各議員の表決状況については、県議会ホームページに掲載しているほか、議会図書室で閲覧できます。

質問者と主な質問項目

○一般質問（16人）

▽佐々木賢司（自由民主党・県民会議）高次脳機能障がい者への支援策について、三本木県有地の利活用について▽遠藤いく子（日本共産党宮城県会議員団）大川小学校問題が県政に問いかけること、放射能汚染廃棄物の焼却処分問題▽守屋守武（自由民主党・県民会議）県のスポーツ政策と現状について、県の観光政策について▽伊藤和博（公明党県議団）大川小国家損害賠償等請求事件について、宮城県の難病対策について

▽菊地恵一（自由民主党・県民会議）観光戦略の諸課題への取り組みについて、消費者目線での農産品販売について▽高橋啓（みやぎ県民の声）河川整備計画と河川管理計画について、放射性廃棄物の安全な処理について▽本木忠一（自由民主党・県民会議）大川小惨事・教育行政の責任を問う、大川小津波訴訟・控訴理由を問う▽菅間進（無所属の会）2020復興に向けての諸課題について、県民生活に係る諸課題について

▽遠藤隼人（自由民主党・県民会議）安心、安全な地域づくりに関して、県産品の販路拡大について▽佐々木功悦（みやぎ県民の声）村井知事の県政運営と政治姿勢について、原発にかかわる諸問題等について▽石川利一（自由民主党・県民会議）知事の信条・姿勢について、仙台空港の今後について▽大内真理（日本共産党宮城県会議員団）被災者実態調査を踏まえた緊急提案、石炭火力発電所の規制強化を求める

▽深谷晃祐（自由民主党・県民会議）人口減少社会の現状と対応策について、宮城県産材の利活用について▽藤倉知格（自由民主党・県民会議）慶長遣欧使節船の存続に向けて、県、仙台市連携共同の音楽ホールを▽太田稔郎（みやぎ県民の声）農業の諸課題について、児童・生徒の安全な通学について▽安部孝（自由民主党・県民会議）再生可能エネルギーの推進について、地震津波対策について

委員会構成

11月定例会では、議会運営委員会や常任委員会等の委員が選任されたほか、予算特別委員会のほか大震災復興調査特別委員会など5つの調査特別委員会が設置された。※◎委員長　○副委員長

議会運営委員会　定数12人

◎石川光次郎（自民）　○佐々木幸士（自民）　ゆさみゆき（県民の声）
太田　稔郎（県民の声）　三浦　一敏（共産）　角野　達也（共産）
伊藤　和博（公明）　熊谷　義彦（社民）　村上　智行（自民）
渥美　巖（自民）　相沢　光哉（自民）　渡辺　和喜（自民）

総務企画委員会　定数10人

◎佐々木喜藏（自民）　○菊地　恵一（自民）　藤原のりすけ（県民の声）
坂下　賢（県民の声）　遠藤いく子（共産）　菅間　進（無所属の会）
佐藤　光樹（自民）　長谷川洋一（自民）　安藤　俊威（自民）
渥美　巖（自民）

環境生活農林水産委員会　定数10人

◎長谷川　敦（自民）　○佐々木賢司（自民）　佐々木功悦（県民の声）
高橋　啓（県民の声）　中嶋　廉（共産）　熊谷　義彦（社民）
中島　源陽（無所属）　安部　孝（自民）　畠山　和純（自民）
藤倉　知格（自民）

保健福祉委員会　定数９人

◎石川　利一（自民）　○天下みゆき（共産）　庄子　賢一（公明）
境　恒春（県民の声）　大内　真理（共産）　庄田　圭佑（自民）
渡辺　勝幸（自民）　村上　智行（自民）　仁田　和廣（自民）

経済商工観光委員会　定数10人

◎すどう　哲（県民の声）　○横山のぼる（公明）　太田　稔郎（県民の声）
渡辺　忠悦（無所属の会）　福島かずえ（共産）　深谷　晃祐（自民）
佐々木幸士（自民）　細川　雄一（自民）　中山　耕一（自民）
中沢　幸男（自民）

建設企業委員会　定数10人

◎只野九十九（自民）　○三浦　一敏（共産）　坂下やすこ（県民の声）
岸田　清実（社民）　内藤　隆司（共産）　伊藤　和博（公明）
横山　隆光（自民）　石川光次郎（自民）　齋藤　正美（自民）
渡辺　和喜（自民）

文教警察委員会　定数10人

◎髙橋　伸二（自民）　○ゆさみゆき（県民の声）　鎌田さゆり（県民の声）
角野　達也（共産）　吉川　寛康（21世紀ク）　遠藤　伸幸（公明）
遠藤　隼人（自民）　守屋　守武（自民）　本木　忠一（自民）
相沢　光哉（自民）

広報委員会

◎吉川　寛康（21世紀ク）　○横山　隆光（自民）　熊谷　義彦（社民）
渡辺　忠悦（無所属の会）　深谷　晃祐（自民）　大内　真理（共産）
鎌田さゆり（県民の声）　横山のぼる（公明）

予算特別委員会　議員全員

◎本木忠一（自民）　○坂下やすこ（県民の声）

12月９日に委員８人による総括質疑を行い、その後、各分科会での審査を経て、平成28年度宮城県一般会計補正予算等を可決した。

●総括質疑者　庄田圭佑（自民）鎌田さゆり（県民の声）畠山和純（自民）中嶋廉（共産）庄子賢一（公明）熊谷義彦（社民）渡辺忠悦（無所属の会）吉川寛康（21世紀ク）

大震災復興調査特別委員会　定数15人

◎渥美　巖（自民）　○太田　稔郎（県民の声）　庄子　賢一（公明）
熊谷　義彦（社民）　渡辺　忠悦（無所属の会）　境　恒春（県民の声）
中嶋　廉（共産）　福島かずえ（共産）　守屋　守武（自民）
石川　利一（自民）　細川　雄一（自民）　佐々木喜藏（自民）
本木　忠一（自民）　安部　孝（自民）　畠山　和純（自民）

地域防災調査特別委員会　定数10人

◎岸田　清実（社民）　○深谷　晃祐（自民）　すどう　哲（県民の声）
髙橋　啓（県民の声）　内藤　隆司（共産）　大内　真理（共産）
渡辺　勝幸（自民）　髙橋　伸二（自民）　中山　耕一（自民）
渡辺　和喜（自民）

地域活力調査特別委員会　定数10人

◎伊藤　和博（公明）　○横山　隆光（自民）　藤原のりすけ（県民の声）
鎌田さゆり（県民の声）　遠藤いく子（共産）　角野　達也（共産）
佐々木賢司（自民）　只野九十九（自民）　佐藤　光樹（自民）
中沢　幸男（自民）

いじめ・不登校等調査特別委員会　定数10人

◎吉川　寛康（21世紀ク）　○遠藤　伸幸（公明）　藤倉　知格（自民）
ゆさみゆき（県民の声）　天下みゆき（共産）　遠藤　隼人（自民）
長谷川　敦（自民）　佐々木幸士（自民）　村上　智行（自民）
相沢　光哉（自民）

総合観光戦略調査特別委員会　定数10人

◎仁田　和廣（自民）　○菅間　進（無所属の会）　坂下やすこ（県民の声）
佐々木功悦（県民の声）　三浦　一敏（共産）　横山のぼる（公明）
庄田　圭佑（自民）　菊地　恵一（自民）　石川光次郎（自民）
安藤　俊威（自民）

＜会派名略称＞自由民主党・県民会議＝（自民）、みやぎ県民の声＝（県民の声）、日本共産党宮城県会議員団＝（共産）、公明党県議団＝（公明）、社民党県議団＝（社民）、無所属の会＝（無所属の会）、21世紀クラブ＝（21世紀ク）

議会改革推進会議

議会改革推進会議は、これまでの検討内容を取りまとめ、11月28日に中島源陽議長に対して、政務活動費について、領収書等のネット公開を平成29年度分から行うことや、手引に解釈の幅のある部分があるため、その取扱いを検討するための会議を新たに設置する必要があることなどを内容とした中間報告書を提出した。

議長就任あいさつ

中島源陽議長

11月定例会開会日に選出された中島源陽議長が、閉会日となる12月15日の議長記者会見の際に就任のあいさつを行った。

中島議長は「今議会は、政務活動費のいろいろな問題を受けて、議長を新たに選出するというところからスタートした。政務活動費についてはこれまで議会改革推進会議で検討してきたが、加えて、今議会中に政務活動費運用検討会議が設置されており、信頼回復に向けた取組がスタートした。県議会の信頼回復が私自身の最大のテーマであり、また、私自身の責任、役割だと思っている。また、大震災から５年９カ月が過ぎているが、復興は道半ばの状況であるので、議会としてもいろいろな点で議論を深め、復興を加速させることも大きな使命だと思っている」と語った。

県議会からのお知らせ

●ラウンジコンサート

県議会では、年４回の定例会開会日に「ラウンジコンサート」を開催しています。入場は自由ですので、ぜひご来場ください。

◇次回コンサートの開催予定
- **日時**／平成29年２月17日（金）午後０時15分～45分
- **場所**／県議会庁舎１階ラウンジ
- **出演**／長谷恵郁（歌唱・ピアノ弾き語り）

◇コンサート出演者募集
- **時期**／平成29年６月、９月
- **条件**／無料出演（ピアノ以外の楽器は持ち込み）演奏ジャンル、プロ、アマチュアなど資格は問いません。
- 詳細はホームページをご覧ください。

●傍聴のご案内

本会議、各委員会は手続きの上、自由に傍聴できます。

▷お問い合わせ先　宮城県議会事務局総務課TEL022(211)3571

●ホームページのご案内

定例会の日程や会議録、議会中継等をご覧いただけます。

宮城県議会　検索

「みやぎ県議会だより」へのご意見・ご感想をお寄せください
宮城県議会事務局政務調査課
〒980－8570　仙台市青葉区本町３丁目８番１号
TEL022(211)3592　FAX022(211)3598
Ｅメール　gtyosas@pref.miyagi.jp